

諏訪地方におけるツガマイタケについて

小 山 明 人*

1 はじめに

ツガマイタケ *Osteina obducta* (Berk.) Donk はタマチョレイタケ目ツガサルノコシカケ科ツガマイタケ属の基準種である。本種は長野県版レッドデータリスト 2014 において情報不足のカテゴリーにランクされていることから、諏訪地方の分布を中心に併せて発生期間を調査した。本調査は昨年度から始めて 2 年目となる。

2 調査方法

分布は茅野市八ヶ岳総合博物館キノコグループ有志に協力を仰ぎ、基質を確認して採集した。発生期間は、八ヶ岳山麓沢沿いの林道を定点観察地として発生した子実体をマーキングし、発生から消滅するまでの期間観察した。発生期間の調査は 6 月 7 日から 12 月 15 日までの 28 回実施した。

3 結果

今年度の発生は定点観察地以外には 1 ケ所（諏訪郡富士見町富士見，カラマツの倒木上,2016/6/27,AK1550）だった。入笠山から杖突峠付近まで数カ所を調査したが見つけることはできなかった。また、高ボッチ周辺、蓼科山周辺も同様だった。

定点観察地での発生期間を表 1 に示す。18 子実体について観察した。幼菌から消滅するまで確認できたのは 8 子実体で、最短で 11 日間、最長で 86 日間、平均 40 日間だった。また、初見日は 6 月 8 日、最終は凍結が確認された 12 月 15 日だった。一回の観察でもっとも子実体が多かったのは 7 月 5 日、19 日、8 月 6 日の各 8 子実体だった。

4 考察

分布については八ヶ岳の麦草峠以北、並びに入笠山から杖突峠までの発生は知られていないことから、諏訪地方全域で普遍的に見られるわけではなさそうである。

発生期間については昨年度の初見日が 6 月 8 日、今年度は 6 月 26 日だった。6 月 7 日の調査では確認できなかったことからやや遅く発生が始まったと思われる。最盛期は 7 月上旬から 8 月上旬であるということを考えると、ツガマイタケの発生開始は 6 月としてよさそうである。9 月 28 日に成菌を確認したことから最後の発生は 9 月中旬以降のようである。9 月に入っても少数発生し晩秋まで成長することからツガマイタケ全体の発生期間は予想より長いことがわかった。

謝辞 調査にあたり多くの調査回数を実施することができました。荒野民雄氏、市川浩久氏、上原裕雄氏、上原妙子氏、小林智子氏にご協力いただき感謝いたします。

* 菌類懇話会事務局長

